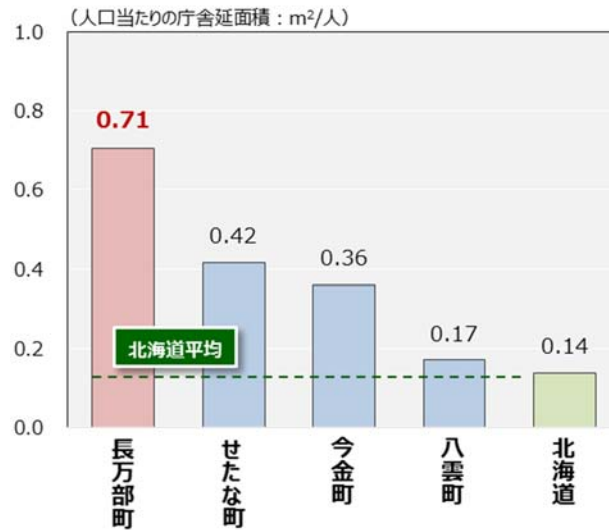


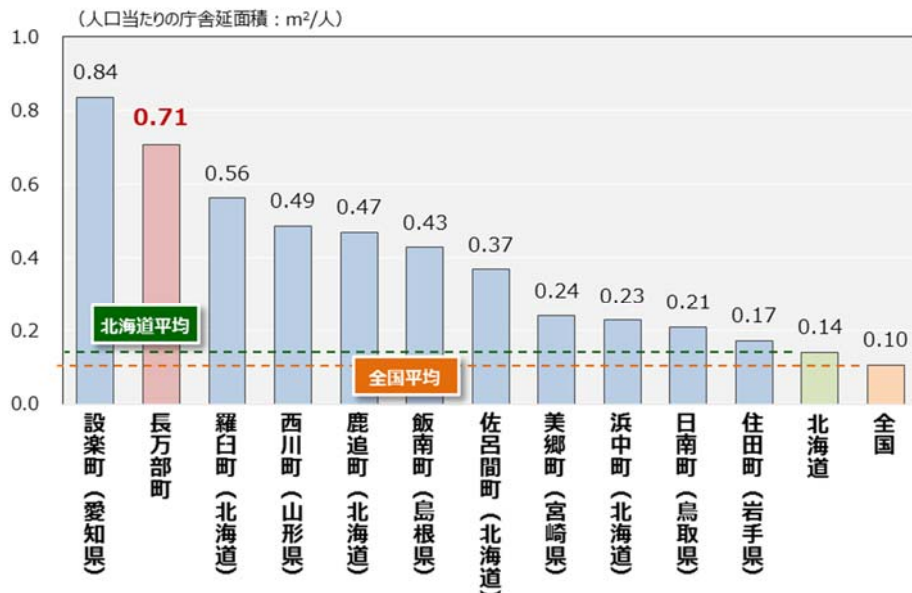
① 庁舎

町役場など庁舎の人口当たりの延床面積は、本町で $0.71 \text{ m}^2/\text{人}$ となり、近隣地域では最も広く、北海道平均を大きく上回っている状況です。また、全国の類似自治体と比較した場合、全国でも人口当たりの庁舎延床面積が広い自治体となっています。



出典：人口⇒平成 25 年住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査（総務省）
 庁舎延面積⇒平成 25 年公共施設状況調（総務省）

図 3-12 近隣自治体の人口当たりの庁舎延面積

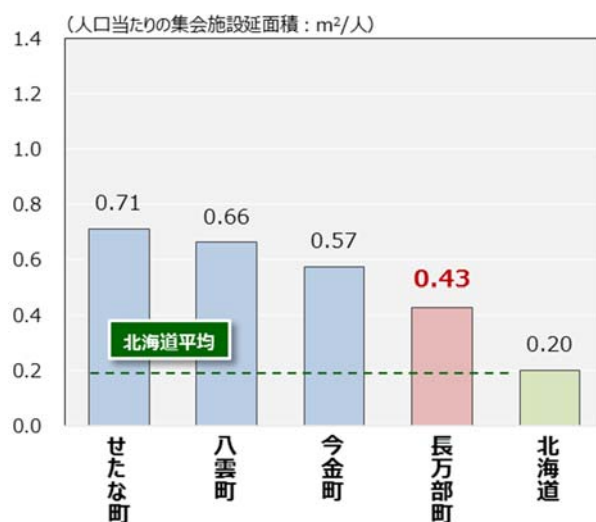


出典：人口⇒平成 25 年住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査（総務省）
 庁舎延面積⇒平成 25 年公共施設状況調（総務省）

図 3-13 類似自治体の人口当たりの庁舎延面積

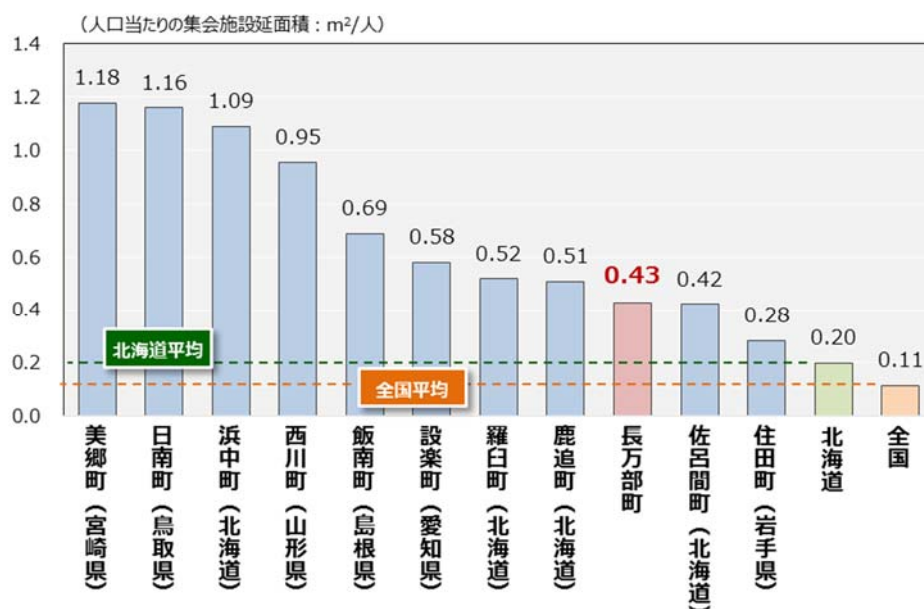
② 集会施設

公民館等の集会施設の人口当たりの延床面積は、本町で 0.43 m²/人となり、近隣地域では最も小さいですが、北海道平均の約 2 倍となっています。また、全国の類似自治体と比較した場合、全国でも人口当たりの庁舎延床面積が小さい状況となっています。



出典：人口⇒平成 25 年住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査（総務省）
集会施設延面積⇒平成 25 年公共施設状況調（総務省）

図 3-14 近隣自治体の人口当たりの集会施設延面積

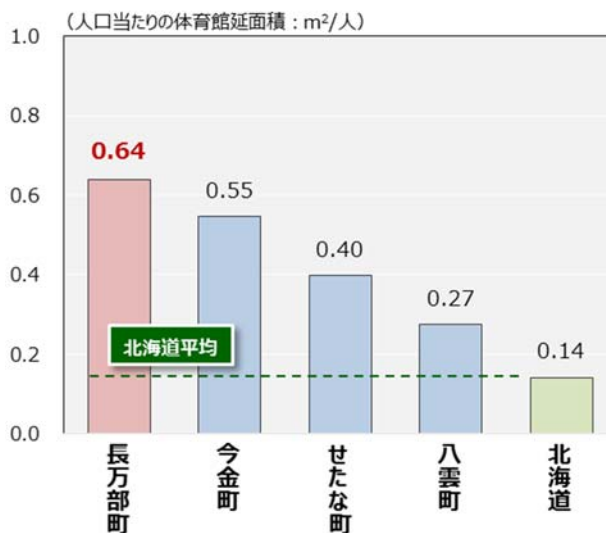


出典：人口⇒平成 25 年住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査（総務省）
集会施設延面積⇒平成 25 年公共施設状況調（総務省）

図 3-15 類似自治体の人口当たりの集会施設延面積

③ 体育館

体育館の人口当たりの延床面積は、本町で $0.64 \text{ m}^2/\text{人}$ となり、近隣地域では最も広く、北海道平均を大きく上回っている状況です。また、全国の類似自治体でも延床面積は広い自治体となっています。



出典：人口⇒平成 25 年住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査（総務省）
体育館延面積⇒平成 25 年公共施設状況調（総務省）

図 3-16 近隣自治体の人口当たりの体育館延面積

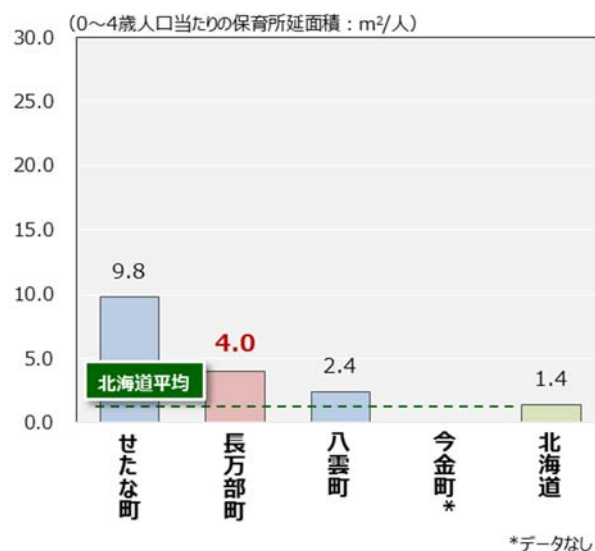


出典：人口⇒平成 25 年住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査（総務省）
体育館延面積⇒平成 25 年公共施設状況調（総務省）

図 3-17 類似自治体の人口当たりの体育館延面積

④ 保育所

人口当たりの保育所延床面積は、本町で 4.0 m²/人となり、近隣地域では広く、北海道平均を上回っている状況です。ただし、全国の類似自治体と比較した場合、全国でも延床面積が小さい自治体となっています。



出典：人口⇒平成 25 年住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査（総務省）
 保育所延面積⇒平成 25 年公共施設状況調（総務省）

図 3-18 近隣自治体の人口当たりの保育所延面積

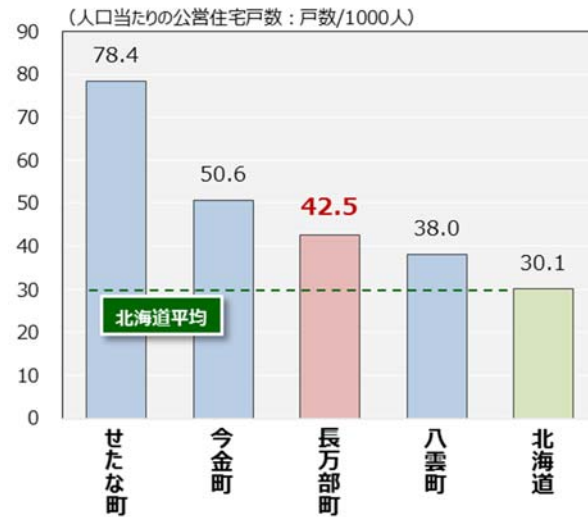


出典：人口⇒平成 25 年住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査（総務省）
 保育所延面積⇒平成 25 年公共施設状況調（総務省）

図 3-19 類似自治体の人口当たりの保育所延面積

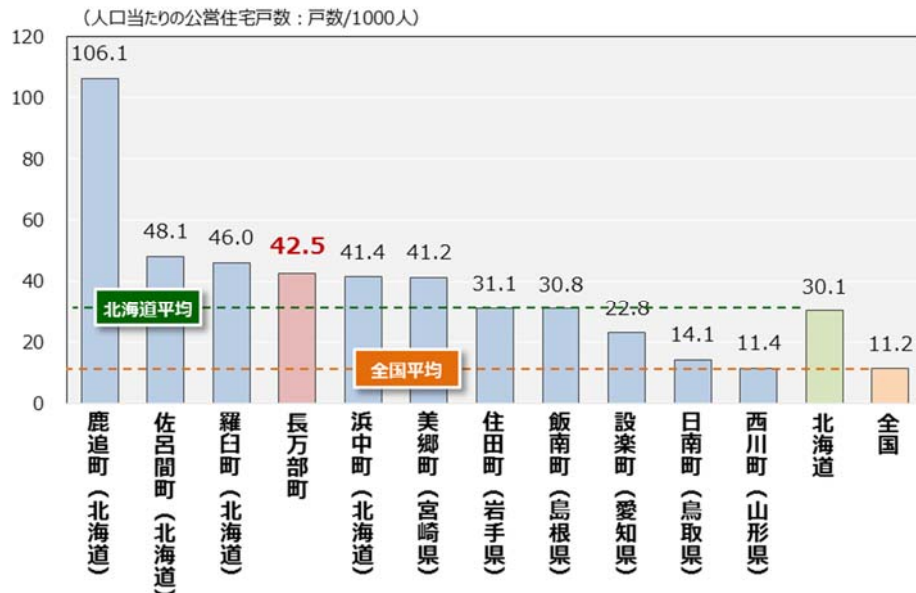
⑤ 公営住宅

公営住宅の人口当たりの延床面積は、本町で $42.5 \text{ m}^2/\text{人}$ となり、北海道平均の約 1.5 倍となっています。また、全国の類似自治体と比較した場合、比較的広い延床面積となっています。



出典：人口⇒平成 25 年住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査（総務省）
公営住宅⇒平成 25 年公共施設状況調査（総務省）

図 3-20 近隣自治体の人口当たりの公営住宅戸数



出典：人口⇒平成 25 年住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査（総務省）
公営住宅⇒平成 25 年公共施設状況調査（総務省）

図 3-21 類似自治体の人口当たりの公営住宅戸数

(2) 都市基盤(インフラ)施設

1) インフラ施設保有量の概要

町内の都市基盤（インフラ）施設は、道路（一般道路、自転車歩行者道、林道）や橋梁のほか、道路付帯施設、上水道、下水道、ガス、公園、農業用排水路など、町民の暮らしや地域産業を支えています。

インフラ施設の保有量は以下に示すとおりで、主要なインフラ施設の整備状況を次頁以降で記載しています。

表 3-2 インフラ施設の保有量

施設名		保有量
道路	一般道路	延長：230,414m
	自転車歩行者道	延長：18,406m
	林道	延長：15,217m
橋梁		86 橋
道路付帯施設		道路標識：13 箇所 道路照明施設：87 箇所
上水道		管延長：72,475m
下水道		管延長：40,987m
ガス		管延長：22,202m
公園		8 公園
農業用排水路		延長：3,441m

2) 主要インフラ施設の整備状況

① 道路

本町が保有する道路は、一般道路で 230,414m、自転車歩行者道で 18,406m、林道で 15,217m を整備しております。一般道路の種別で見ると、その他が全体の約 4 割と大部分を占めております。

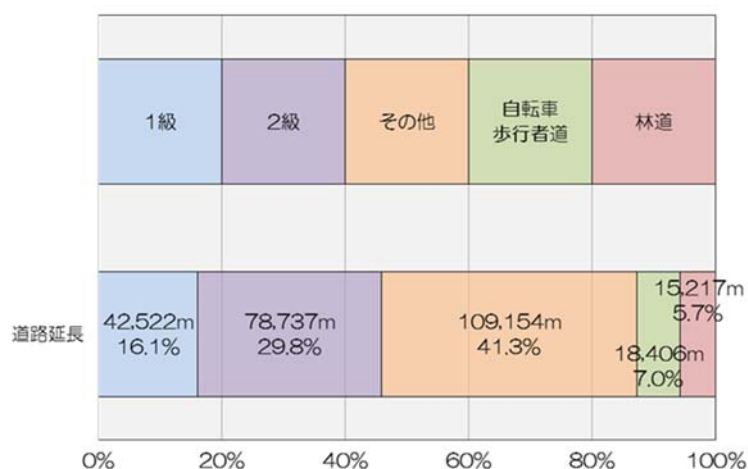


図 3-2 2 道路種別の実延長割合

② 橋梁

本町が保有する橋梁は、1980年代に整備されたものが全体の約4割を占めています。また、1970年以前に整備された橋梁は全体の1/3となっています。

橋梁種別（RC橋、PC橋、鋼橋、木橋）による整備状況では、1970年代は鉄筋コンクリートで造られたRC橋が多く、1980年代では鋼材で補強されたコンクリートのPC橋や鋼で造られた鋼橋が多くなっているのが特徴です。

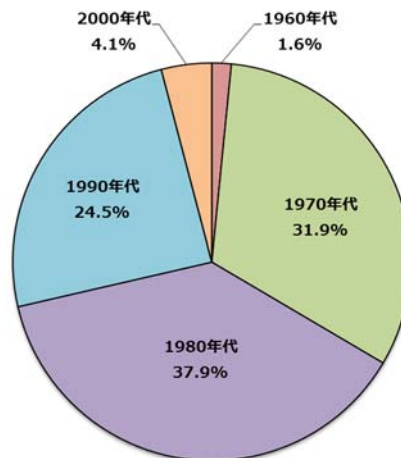


図 3-23 年代別橋梁面積

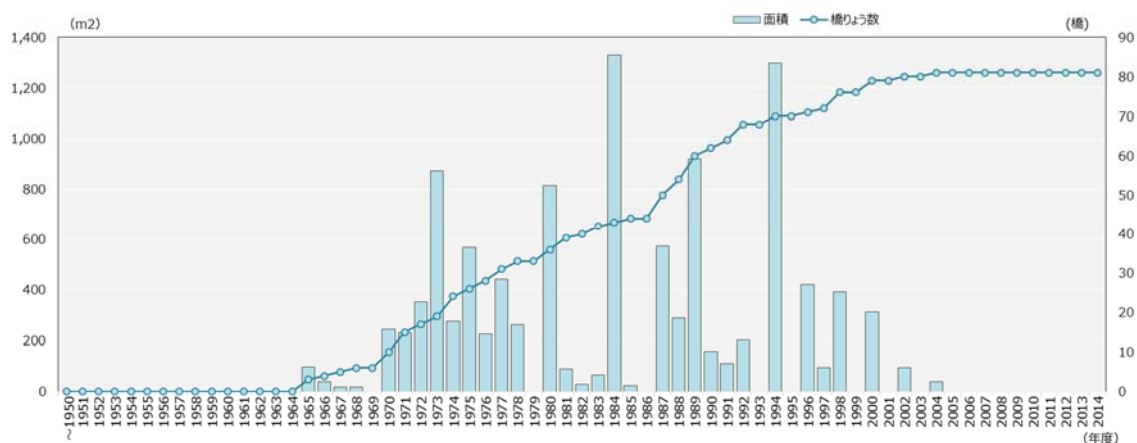


図 3-24 年度別整備状況

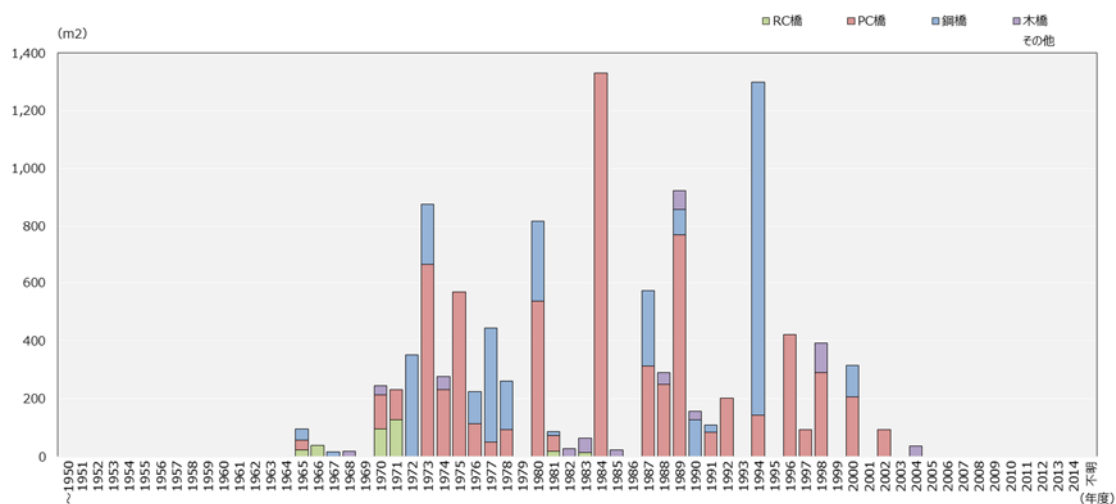


図 3-25 年度別・構造別整備状況

③ 上水道

上水道の整備状況は、1980 年代以降の整備が全体の 8 割以上と比較的新しく、特に 1985～1989 年の 80 年代後半で集中的な整備となっています。

また、上水道管種別（導水管、送水管、配水管）で見ると、貯水池などから、浄水場へ水を送る導水管や浄水場から配水場に浄水を送る送水管は、配水場から各家庭などまで浄水を送り届ける配水管と比べ、1980 年代及び 80 年代以前での整備が多いのは特徴となっています。

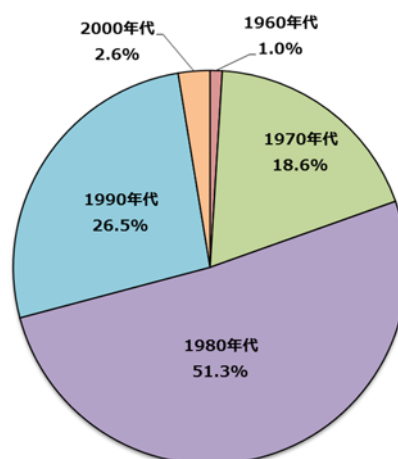


図 3-26 年代別上水道延長

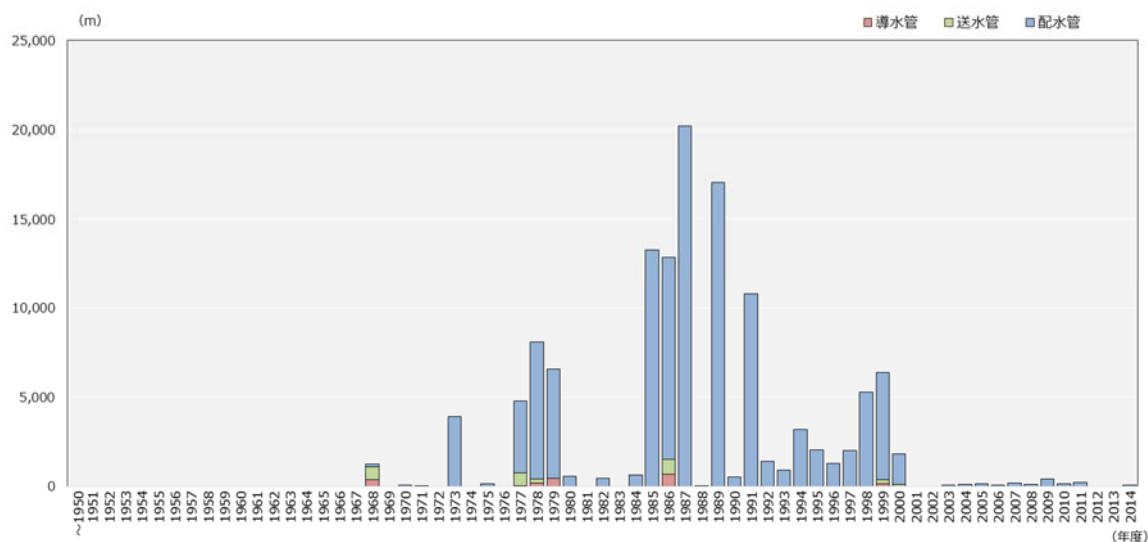


図 3-27 年度別整備状況

④ 下水道

本町における下水道の整備状況は、多くは1990年代に整備されたもので、90年以降に整備された下水道は全体の3/4を占め、他のインフラ施設と比べ、近年に整備されたものとなっています。

また、下水道管の種別による整備状況では、当初はコンクリート管による整備が多くなっていましたが、腐食による損傷の回避等が可能な塩化ビニール管での整備となっています。

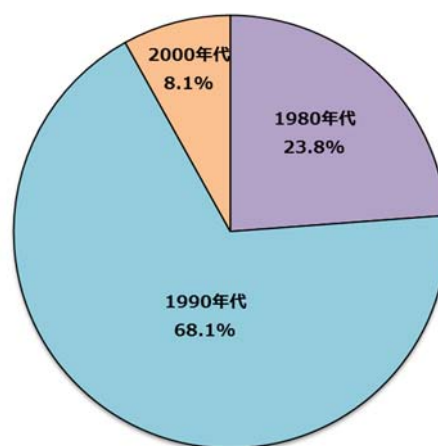


図 3-28 年代別下水道延長

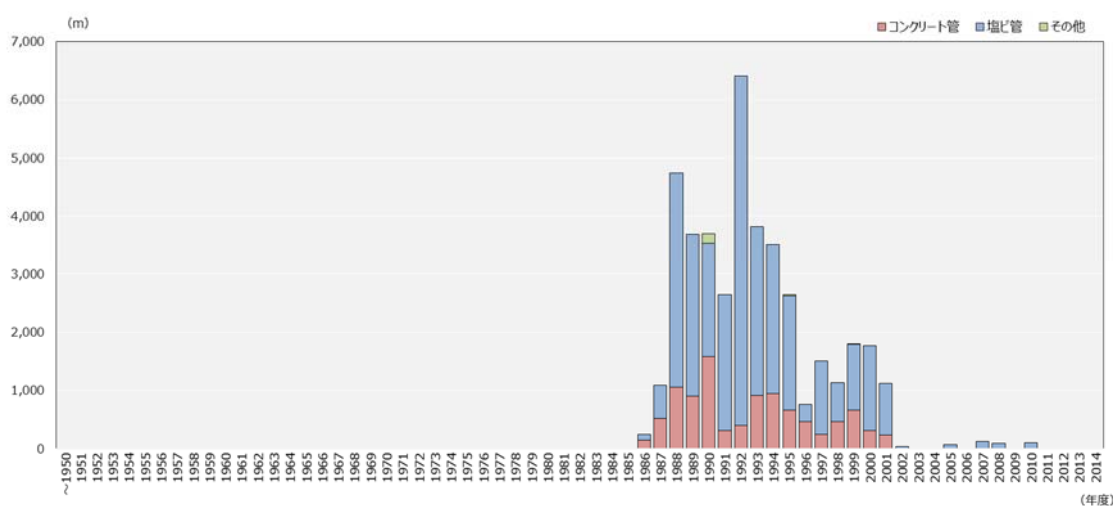


図 3-29 年度別整備状況

⑤ ガス

住民の暮らしに欠かせないガス供給については、各年代で随時整備を行っており、2000年代では全体の3割を整備しています。

また、ガス管種別（GP管、PL管、FCD管、PE管）による整備状況では、1970年代までは亜鉛メッキ鋼管（GP管）、1980年代は球状黒鉛鋳鉄を材質としたFCD管、1990年代は鋼管をポリエチレンで被覆したPL管、2000年代以降は、震災による被害も少ないポリエチレン（PE）管での整備が特徴となっています。

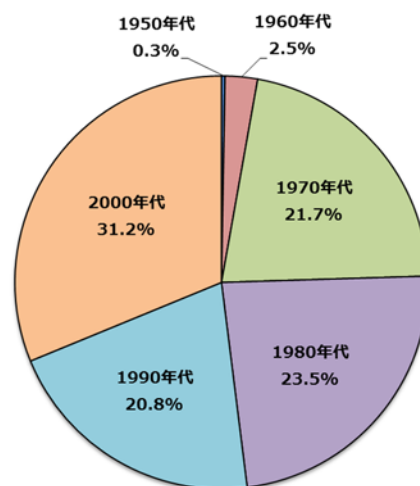


図 3-30 年代別ガス管延長

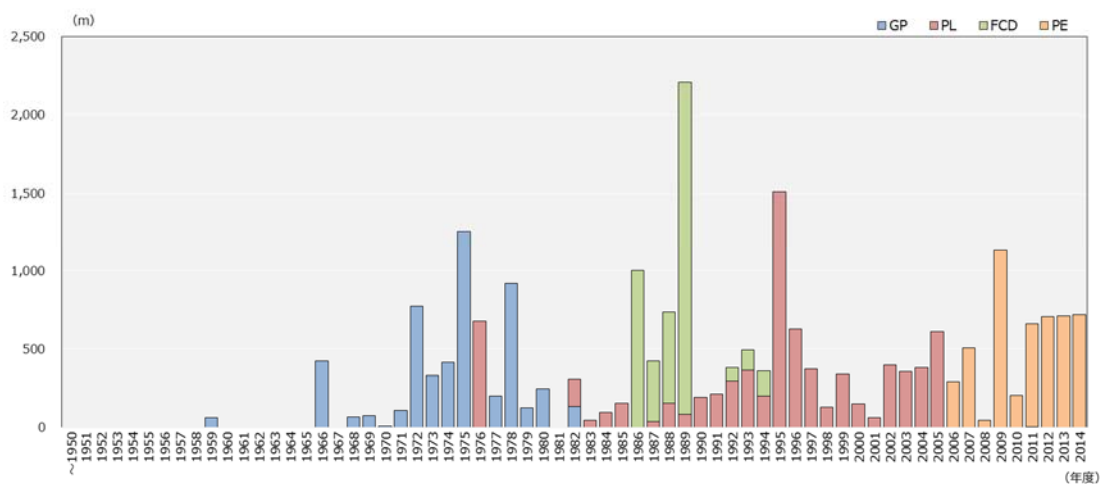


図 3-31 年度別整備状況

4. 分類別で見た公共施設の状況

4.1 分類別施設の比較

(1) 分類別保有施設量

分類別の公共施設の保有量は、棟数では教員住宅等のその他が52棟と最も多く、次いで学校（31棟）、公営住宅（28棟）の順になっています。

一方、延床面積では、学校が23,045 m²と最も多く、次いで公営住宅（20,542 m²）の順となり、棟数の多いその他は延床面積の小さい施設が多くなっています。

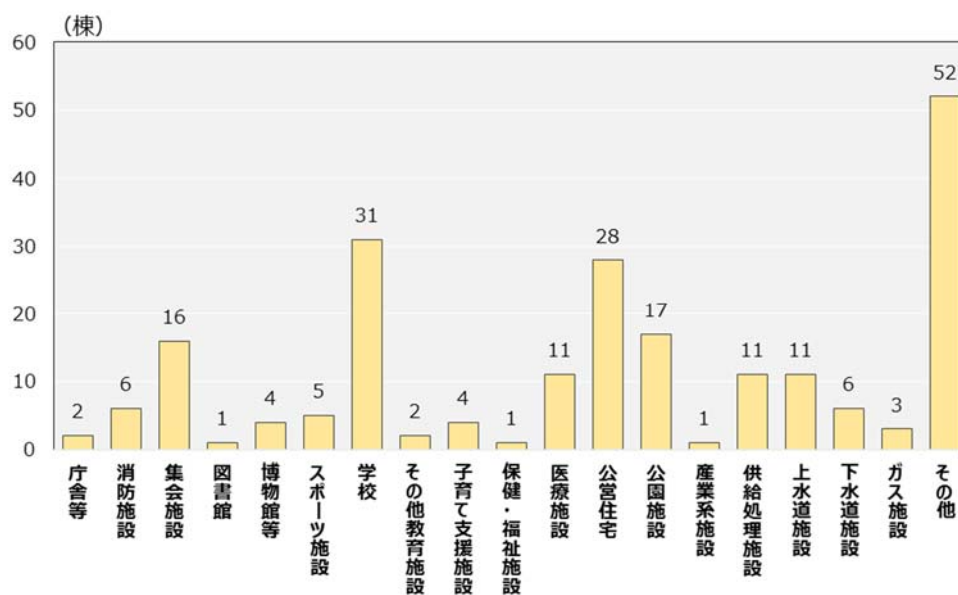


図 4-1 分類別公共施設棟数

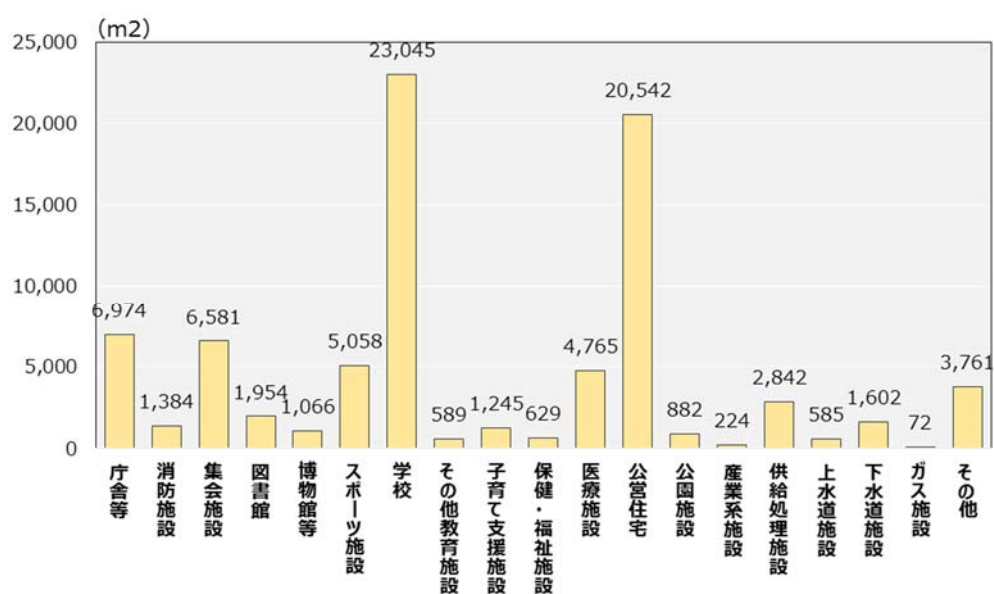


図 4-2 分類別公共施設延床面積

(2) 分類別人口当たり保有施設量

人口当たりの分類別施設では、学校や公営住宅が 3.0 m²/人以上と最も多く、逆に上水道施設やガス施設などの供給施設は低くなっています。

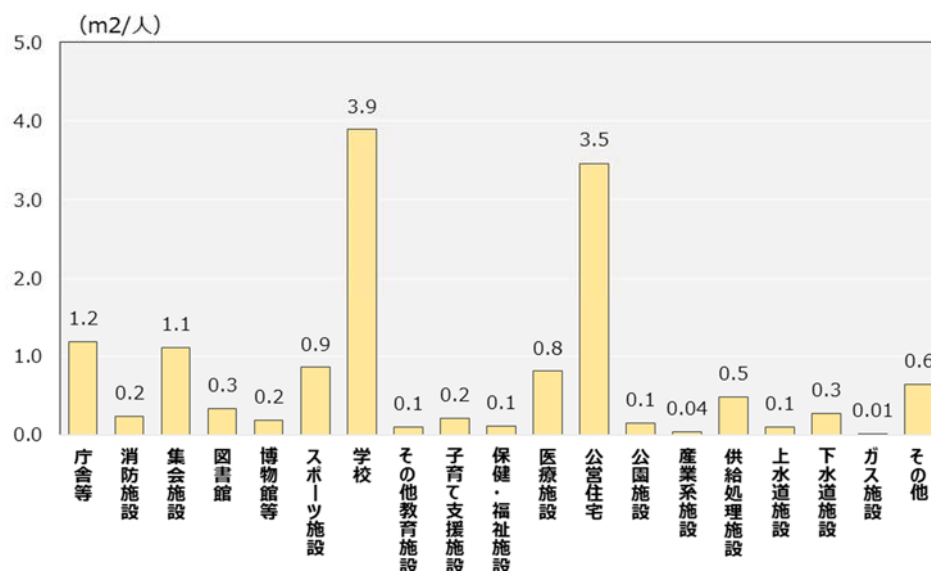


図 4-3 分類別公共施設人口 1 人あたりの延床面積

(3) 分類別築年数

分類別施設の築年数を比べると、庁舎や消防施設といった行政系施設は 20 年未満と比較的新しい施設ですが、博物館等や保健・福祉施設（高齢者福祉施設）は、大規模改修を検討する目安となる築 30 年以上を経過した建物が 100% となっています。

また、スポーツ施設や学校、ガス施設等も 30 年以上経過している建物が目立っている状況です。

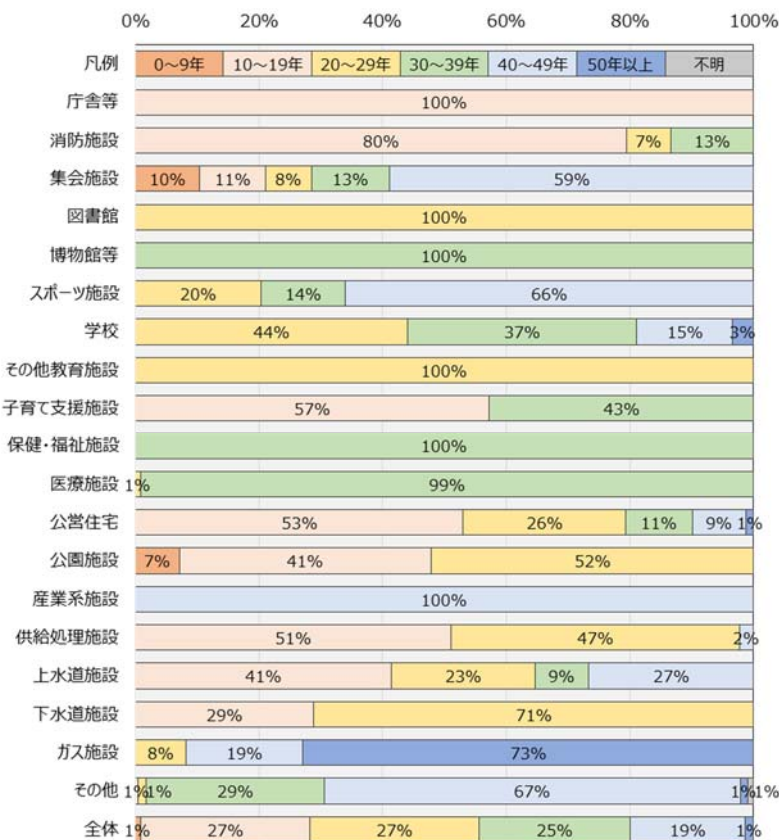


図 4-4 分類別公共施設築年数割合（延床面積）

(4) 分類別施設運営・維持管理コスト

公共施設における行政サービスの提供においては、施設運営費（人件費等）のほか、施設維持管理のための費用（光熱水費や工事費等）が必要となります。

分類別の施設運営・維持管理コストは、医療施設が 611 百万円と最も多く、次いで供給処理施設（清掃センターやリサイクル施設等）の 257 百万円となっています。これを住民一人当たりで計算すると、医療施設が 10.3 万円/人、供給処理施設が 4.3 万円/人となります。

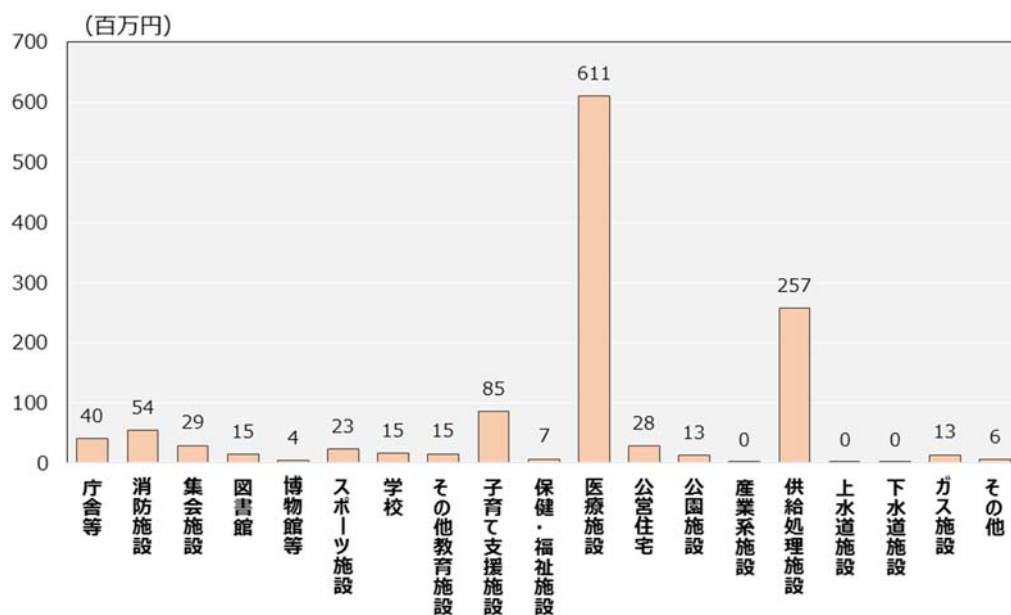


図 4-5 分類別公共施設の運営・維持管理費

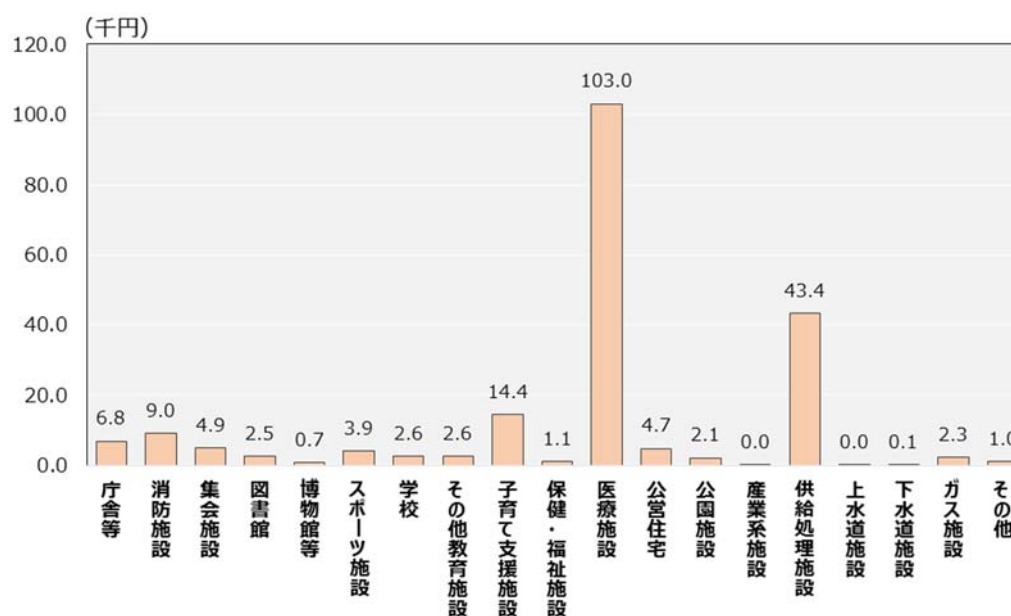


図 4-6 分類別公共施設の運営・維持管理費（人口 1 人あたり）

4.2 分類別施設の状況

4.2.1 行政系施設

(1) 庁舎等

① 施設の概要

本町の本庁舎は、役場の位置を定める条例等に基づき、行政事務の執行及び各種窓口業務などの行政サービス提供の拠点として設置しています。窓口業務は、土日祝日と年末年始を除き行っています。

また、本庁舎には、「長万部町ふれあい健康センター条例」に基づき、健康センターを併設しています。

表 4-1 庁舎等の施設概要

施設名称	地区	所管部門	建築年度	経過年数	延床面積(m ²)	配置形態	設置条例	開館日数	目的外利用
本庁舎 健康センター	長万部	総務課	1998	17	5990.1	単独	長万部町ふれあい健康センター条例	-	-
大型車庫	長万部	総務課	1996	19	983.41	単独	-	-	-



《長万部町役場》

② 施設の配置状況と需要人口

以下に庁舎の配置と字別の人口密度を示していますが、本庁舎は、町内で最も人口密度の高い地域に配置されています。

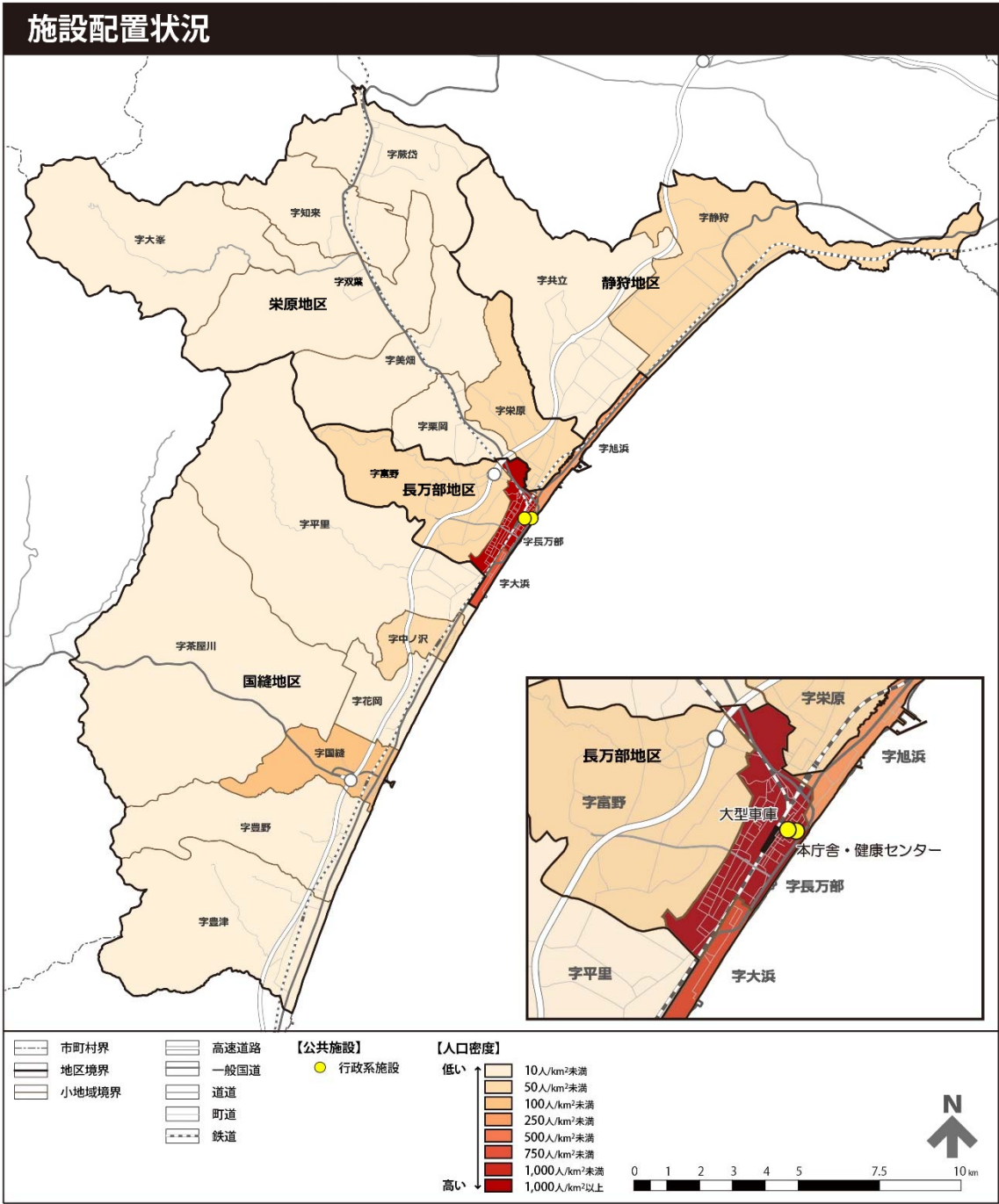


図 4-7 庁舎等配置状況

③ 建物の現状

本庁舎は、町内でも比較的新しく整備された施設であり、耐久性が高いほか、点字ブロックやエレベーター、多目的トイレなどを整備し、福祉性能も高く、建築性能としては高い施設となっています。

表 4-2 庁舎等の建物の現状

施設名称	延床面積 (m ²)	築 30 年 経過※	構造性能				設備性能			建物性能 (点)
			老朽化率	主体構造	耐久性能	大規模 改修	福祉性能	節電性能	節水性能	
本庁舎 健康センター	5,990	-	3.6	5	5	1	4	1	1	20.6
大型車庫	983	-	2.5	3	5	1	2	1	1	15.5

※築 30 年経過の施設は「●」、30 年未満は「-」を記載

④ 維持管理・運営コストの現状

庁舎全体の運営・維持管理コストの合計は 39,510 千円となっています。

表 4-3 庁舎等の維持管理・運営コストの現状

施設名称	保有形態		運営 形態	年間収支（千円）				1㎡あたりの年間経費		
	土地	建物		収入	支出			運営費 （円/㎡）	維持 管理費 （円/㎡）	年間コスト （円/㎡）
					運営費	維持 管理費	年間コスト			
本庁舎 健康センター	所有	所有	直営	0	0	39,510	39,510	0	6,596	6,596
大型車庫	所有	所有	直営	360	0	691	691	0	703	703

⑤ 稼働・利用の現状

長万部町役場の職員数は、過去 3 年間の平均で 103 職員となり、職員 1 人あたりの庁舎延床面積は 58.35 m² となります。

表 4-4 庁舎等の稼働・利用の現状

施設名称	職員数			延床面積 (m ²)	平均職員数	職員 1 人あたりの 延床面積 (m ²)
	H24	H25	H26			
本庁舎・健康センター	101	104	103	5,990	103	58.35
大型車庫	-	-	-	983	-	-

(2) 消防施設

① 施設の概要

消防施設は、「長万部町消防本部及び消防署の設置等に関する条例」などに基づき、町民の生命や財産を保護するための消防や救急事務の拠点として設置しています。また、町内 5 地区に、「長万部町消防団設置条例」により消防機械器具置場を配置しています。

表 4-5 消防施設の概要

施設名称	地区	所管部門	建築年度	経過年数	延床面積(m ²)	配置形態	設置条例	開館日数	目的外利用
消防庁舎	長万部	消防本部	2003	12	1100.37	単独	長万部町消防本部及び消防署の設置等に関する条例 長万部町消防団設置条例	-	-
長万部分団4部機械器具置場	長万部	消防本部	1988	27	45.54	単独	長万部町消防団設置条例	-	町内会物置
国縫地区消防機械器具置場	国縫	国縫地区消防防災	1983	32	79.76	単独	長万部町消防団設置条例	-	-
静狩地区消防機械器具置場	静狩	消防本部	1984	31	83.63	単独	長万部町消防団設置条例	-	-
双葉地区消防機械器具置場	栄原	消防本部	1984	31	20.7	単独	長万部町消防団設置条例	-	-
中ノ沢地区消防機械器具置場	国縫	消防本部	1990	25	53.82	単独	長万部町消防団設置条例	-	-



《長万部町消防庁舎》

② 施設の配置状況と需要人口

以下に消防庁舎の配置と字別の人口密度を示していますが、消防庁舎は、町内で最も人口密度の高い地域に配置しているほか、各地区に消防団の拠点となる「消防機械器具置場」は配置しています。

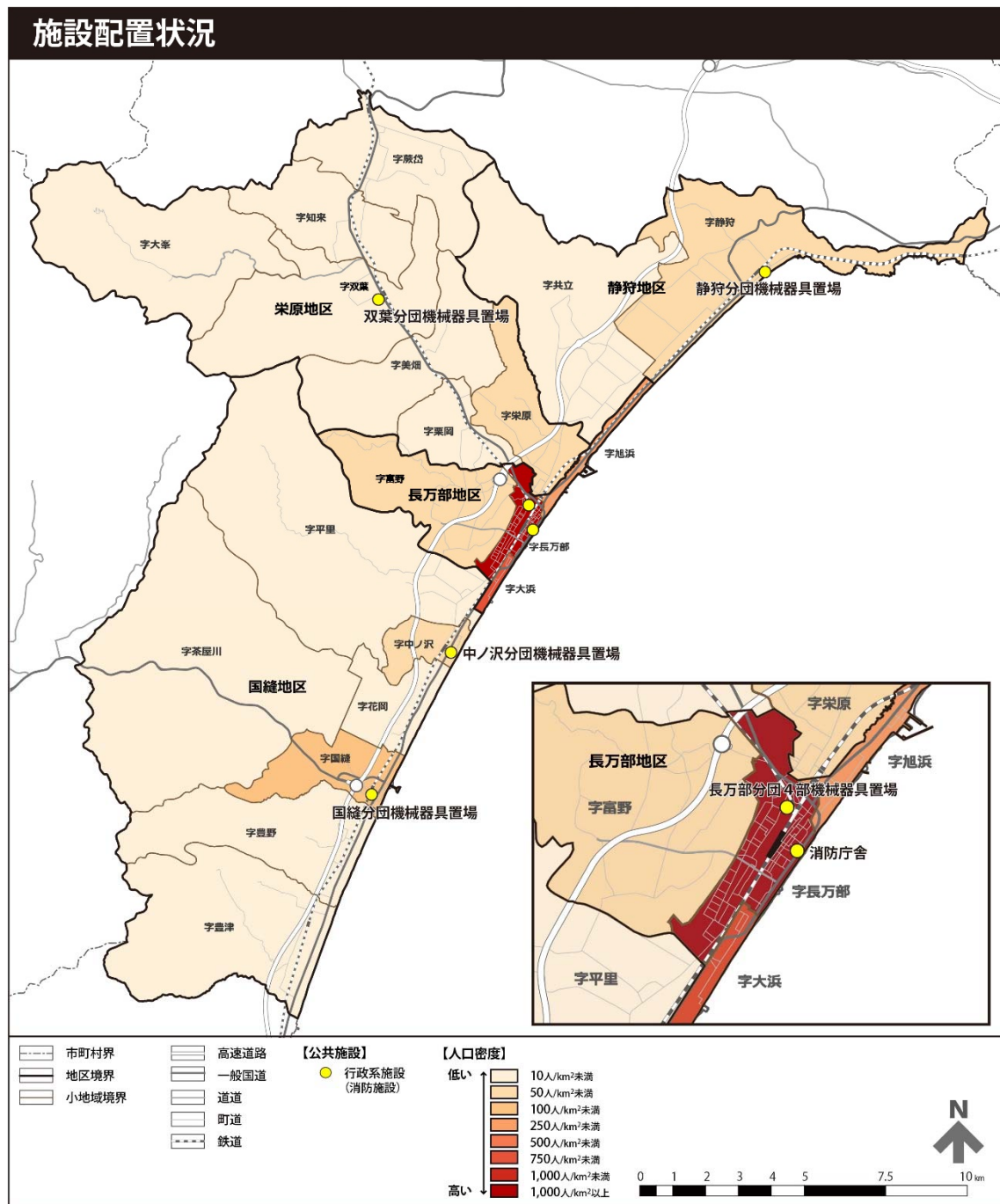


図 4-8 消防施設配置状況

③ 建物の現状

消防庁舎は、町役場と同じく、町内でも比較的新しい施設となっていますが、各地区の消防団施設では築 30 年を経過した施設もあります。

表 4-6 消防施設の建物の現状

施設名称	延床面積 (m ²)	築 30 年 経過※	構造性能				設備性能			建物性能 (点)
			老朽化率	主体構造	耐久性能	大規模 改修	福祉性能	節電性能	節水性能	
消防庁舎	1,100	-	4.0	5	5	1	1	1	1	18.0
長万部分団 4 部機械器具置場	45.54	-	1.0	1	5	1	1	1	1	11.0
国縫地区 消防機械器具置場	80	●	1.0	1	5	1	1	1	1	11.0
静狩地区 消防機械器具置場	84	●	1.0	1	5	1	1	1	1	11.0
双葉地区 消防機械器具置場	21	●	1.0	1	5	1	1	1	1	11.0
中ノ沢地区 消防機械器具置場	54	-	1.0	1	5	1	1	1	1	11.0

※築 30 年経過の施設は「●」、30 年未満は「-」を記載

④ 維持管理・運営コストの現状

消防施設の維持管理コストの合計は、52,615 千円となっています。また、消防施設の面積当たり維持管理コストは平均 4.78 千円/ m²となっています。

表 4-7 消防施設の維持管理・運営コストの現状

施設名称	保有形態		運営 形態	年間収支（千円）				1㎡当たりの年間経費		
	土地	建物		収入	支出			運営費 （円/㎡）	維持管理費 （円/㎡）	年間コスト （円/㎡）
					運営費	維持 管理費	年間コスト			
消防庁舎	所有	所有	直営	0	0	52,615	52,615	0	47,816	47,816
長万部分団4部機械 器具置場	所有	所有	直営	0	0	21	21	0	471	471
国縫地区 消防機械器具置場	所有	所有	直営	0	0	102	102	0	1,278	1,278
静狩地区 消防機械器具置場	所有	所有	直営	0	0	825	825	0	9,862	9,862
双葉地区 消防機械器具置場	所有	所有	直営	0	0	4	4	0	192	192
中ノ沢地区 消防機械器具置場	所有	所有	直営	0	0	29	29	0	537	537

⑤ 稼働・利用の現状

消防施設の年間平均稼働数は 340 回/年となり、各地区の消防団における平均出動回数は 8 回/年程度となっています。

表 4-8 消防施設の稼働・利用の現状

施設名称	職員数			延床面積 (m ²)	平均 職員数	職員 1 人あたりの 延床面積 (m ²)	年間 平均出動件数
	H24	H25	H26				
消防庁舎	20	20	20	1,100	20	55.02	340
長万部分団 4 部機械器具置場	-	-	-	46	-	-	8
国縫地区消防機械器具置場	-	-	-	80	-	-	8
静狩地区消防機械器具置場	-	-	-	84	-	-	8
双葉地区消防機械器具置場	-	-	-	21	-	-	8
中ノ沢地区消防機械器具置場	-	-	-	54	-	-	8

4.2.2 市民文化(コミュニティ)系施設

(1) 集会施設

① 施設の概要

町内の集会施設は、条例に基づき、各地区住民を対象とした施設（生活館、振興会館等）を町内に 13 施設配置しています。

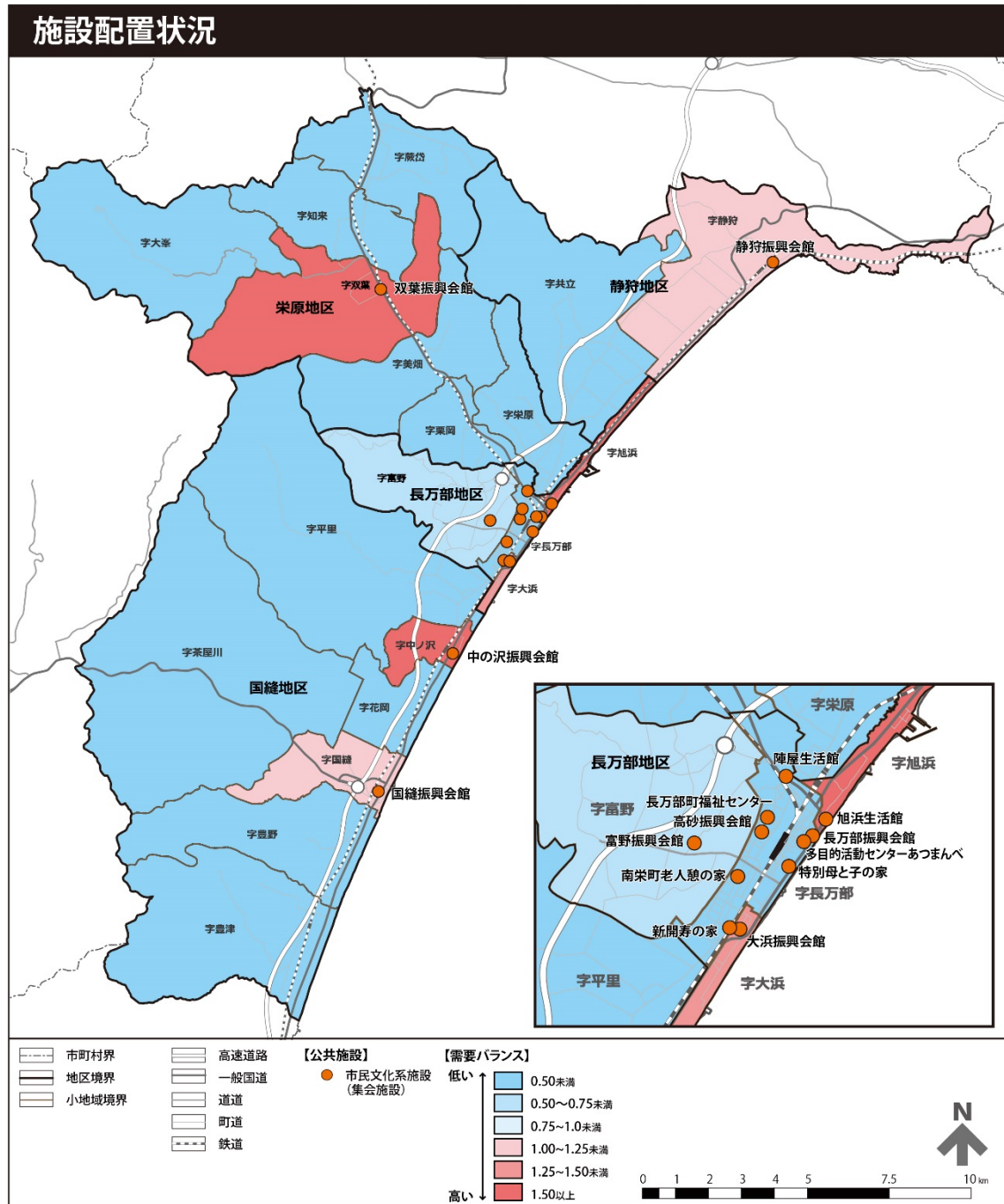
また、「長万部町福祉センター条例」等により、全町域を対象とした長万部町福祉センターや「多目的活動支援センターあつまんべ」を整備しています。

表 4-9 集会施設の概要

施設名称		地区	所管部門	建築 年度	経過 年数	延床面積 (㎡)	配置 形態	設置条例	開館 日数	目的外 利用
旭浜生活館		長万部	保健福祉課	1985	30	326.27	単独	長万部町立生活館条例	46	-
高砂振興会館	高砂振興会館	長万部	保健福祉課	1978	37	281.54	併設	長万部町立振興会館条例	163	-
	高砂振興会館プレハブ、スーパーハウス増築	長万部	保健福祉課	2000	15	27	併設	長万部町立振興会館条例	163	-
国縫振興会館		国縫	保健福祉課	1971	44	301.17	単独	長万部町立振興会館条例	66	-
新開寿の家		長万部	保健福祉課	1975	40	268.45	単独	長万部町立寿の家条例	34	-
陣屋生活館		長万部	保健福祉課	1974	41	277.55	単独	長万部町立生活館条例	57	-
静狩振興会館		静狩	保健福祉課	2000	15	279.06	単独	長万部町立振興会館条例	73	-
双葉振興会館		栄原	保健福祉課	1995	20	250	単独	長万部町立振興会館条例	48	-
大浜振興会館		長万部	保健福祉課	2002	13	398.07	単独	長万部町立振興会館条例	58	-
中の沢振興会館		国縫	保健福祉課	1982	33	215.44	単独	長万部町立振興会館条例	54	-
長万部振興会館		長万部	保健福祉課	1975	40	430	単独	長万部町立振興会館条例	97	-
富野振興会館		長万部	保健福祉課	1987	28	245.18	単独	長万部町立振興会館条例	37	-
南栄町老人憩の家		長万部	保健福祉課	1972	43	268	単独	長万部町立老人憩の家条例	213	-
特別母と子の家		長万部	保健福祉課	1972	43	375	単独	長万部町立特別母と子の家条例	147	-
長万部町福祉センター		長万部	教育委員会	1972	43	1955.94	単独	長万部町福祉センター条例	305	-
多目的活動センターあつまんべ		長万部	産業振興課	2014	1	682.14	単独	長万部町多目的活動センターあつまんべ条例	31	-

② 施設の配置状況と需要人口

集会施設の配置と字別の人口による需要バランス（各施設の供給エリアと各施設の需要人口のバランス）を示していますが、人口の多い長万部地区では、需要バランスが他地区に比べ低い状況となっています。これは、集会施設が集中しており、各施設の供給面積が小さいため低い結果となっています。



③ 建物の現状

集会施設は、「高砂振興会館」や「国縫振興会館」、「陣屋生活館」など築 30 年を経過した施設で建物性能の点数が低い結果となっています。

表 4-10 集会施設の建物の現状

施設名称	延床面積 (m ²)	築 30 年 経過	構造性能				設備性能			建物性能 (点)
			老朽化率	主体構造	耐久性能	大規模 改修	福祉性能	節電性能	節水性能	
旭浜生活館	326	●	1.0	1	5	1	2	1	1	12.0
高砂振興会館	282	●	1.0	1	1	1	2	1	1	8.0
高砂振興会館プレハブ、スーパーハウス増築	27	-	3.4	3	5	1	1	1	1	15.4
国縫振興会館	301	●	1.0	1	1	1	1	1	1	7.0
新開寿の家	268	●	1.1	1	1	1	1	1	1	7.1
陣屋生活館	278	●	1.0	1	1	1	1	1	1	7.0
静狩振興会館	279	-	2.5	1	5	1	3	1	1	14.5
双葉振興会館	250	-	3.0	1	5	1	3	1	1	15.0
大浜振興会館	398	-	2.8	1	5	1	4	1	1	15.8
中の沢振興会館	215	●	1.0	1	5	1	1	1	1	11.0
長万部振興会館	430	●	1.1	1	1	1	1	1	1	7.1
富野振興会館	245	-	1.0	1	5	1	2	1	1	12.0
南栄町老人憩の家	268	●	1.0	1	1	1	1	1	1	7.0
特別母と子の家	375	●	1.0	1	1	1	1	1	1	7.0
長万部町福祉センター	1,956	●	1.6	5	4	1	2	1	1	15.6
多目的活動センターあつまんべ	682	-	4.8	1	5	1	2	2	1	16.8

※築 30 年経過の施設は「●」、30 年未満は「-」を記載

④ 維持管理・運営コストの現状

集会施設の運営・維持管理コストを以下に示していますが、施設規模により運営・維持管理コストは異なるほか、富野振興会館は、施設規模は小さいですが、年間コストは他と比べ高くなっています。

表 4-11 集会施設の維持管理・運営コストの現状

施設名称	保有形態		運営 形態	年間収支（千円）				1m ² 当たりの年間経費		
	土地	建物		収入	支出			運営費 （円/㎡）	維持管理費 （円/㎡）	年間コスト （円/㎡）
					運営費	維持 管理費	年間コスト			
旭浜生活館	所有	所有	直営	44	0	3,229	3,229	0	9,898	9,898
高砂振興会館	所有	所有	直営	358	0	926	926	0	3,002	3,002
国縫振興会館	所有	所有	直営	28	0	612	612	0	2,033	2,033
新開寿の家	所有	所有	直営	129	0	479	479	0	1,783	1,783
陣屋生活館	所有	所有	直営	62	0	711	711	0	2,561	2,561
静狩振興会館	所有	所有	直営	64	0	983	983	0	3,523	3,523
双葉振興会館	所有	所有	直営	123	0	1,106	1,106	0	4,425	4,425
大浜振興会館	所有	所有	直営	82	0	891	891	0	2,239	2,239
中の沢振興会館	所有	所有	直営	71	0	661	661	0	3,066	3,066
長万部振興会館	所有	所有	直営	161	0	951	951	0	2,213	2,213
富野振興会館	所有	所有	直営	34	0	2,891	2,891	0	11,792	11,792
南栄町老人憩の家	所有	所有	直営	147	0	667	667	0	2,491	2,491
特別母と子の家	所有	所有	直営	152	0	770	770	0	2,052	2,052
長万部町福祉センター	所有	所有	直営	476	4,050	7,921	11,971	2,071	4,050	6,120
多目的活動センター あつまんべ	所有	所有	直営	36	0	1,978	1,978	0	2,900	2,900

⑤ 稼働・利用の現状

集会施設の稼働状況を以下に示していますが、「長万部振興会館」や「富野振興会館」では、稼働率がいずれも 0.9 以上と他の集会施設と比べ高くなっています。

表 4-12 集会施設の稼働・利用の現状

施設名称	利用者数			延床面積 (m ²)	部屋数	地区住民 1 人あたりの延床面積 (m ²)	稼働率
	H24	H25	H26				
旭浜生活館	1527	1294	760	326.27	4	0.98	0.78
高砂振興会館	5030	5951	3754	308.54	4	0.09	0.83
国縫振興会館	1045	1410	1154	301.17	3	0.77	0.85
新開寿の家	1065	1597	1401	268.45	3	0.08	0.85
陣屋生活館	1564	2836	1401	277.55	3	0.08	0.68
静狩振興会館	478	733	997	279.06	3	0.71	0.74
双葉振興会館	1541	1301	950	250	3	2.81	0.82
大浜振興会館	1230	2422	1707	398.07	3	0.93	0.74
中の沢振興会館	1244	2422	1707	215.44	3	1.42	0.74
長万部振興会館	2413	2211	2705	430	4	0.13	0.90
富野振興会館	883	1012	1071	245.18	3	0.41	0.92
南栄町老人憩の家	4711	4106	3809	268	4	0.08	0.89
特別母と子の家	2596	1971	1299	375	4	0.11	0.75
長万部町福祉センター	9224	11245	12644	1955.94	7	0.31	0.87
多目的活動センターあつまんべ	-	-	3911	682.14	7	0.11	-

4.2.3 生涯学習系施設

(1) 社会教育系施設

1) 図書館

① 施設の概要

町民の文化的な暮らしや生涯学習活動を促進する「学習文化センター」は、「学習文化センター条例」に基づき 1991 年に整備しています。

表 4-13 図書館の概要

施設名称	地区	所管部門	建築 年度	経過 年数	延床面積 (m ²)	配置 形態	設置条例	開館 日数	目的外 利用
学習文化センター	長万部	教育委員会	1991	24	1954.46	単独	学習文化センター条例	305	-



《学習文化センター》

② 施設の配置状況と需要人口

図書館の配置と字別の人口密度を示していますが、全町民を対象とした施設である図書館は人口密度が最も高い長万部地区に配置されています。

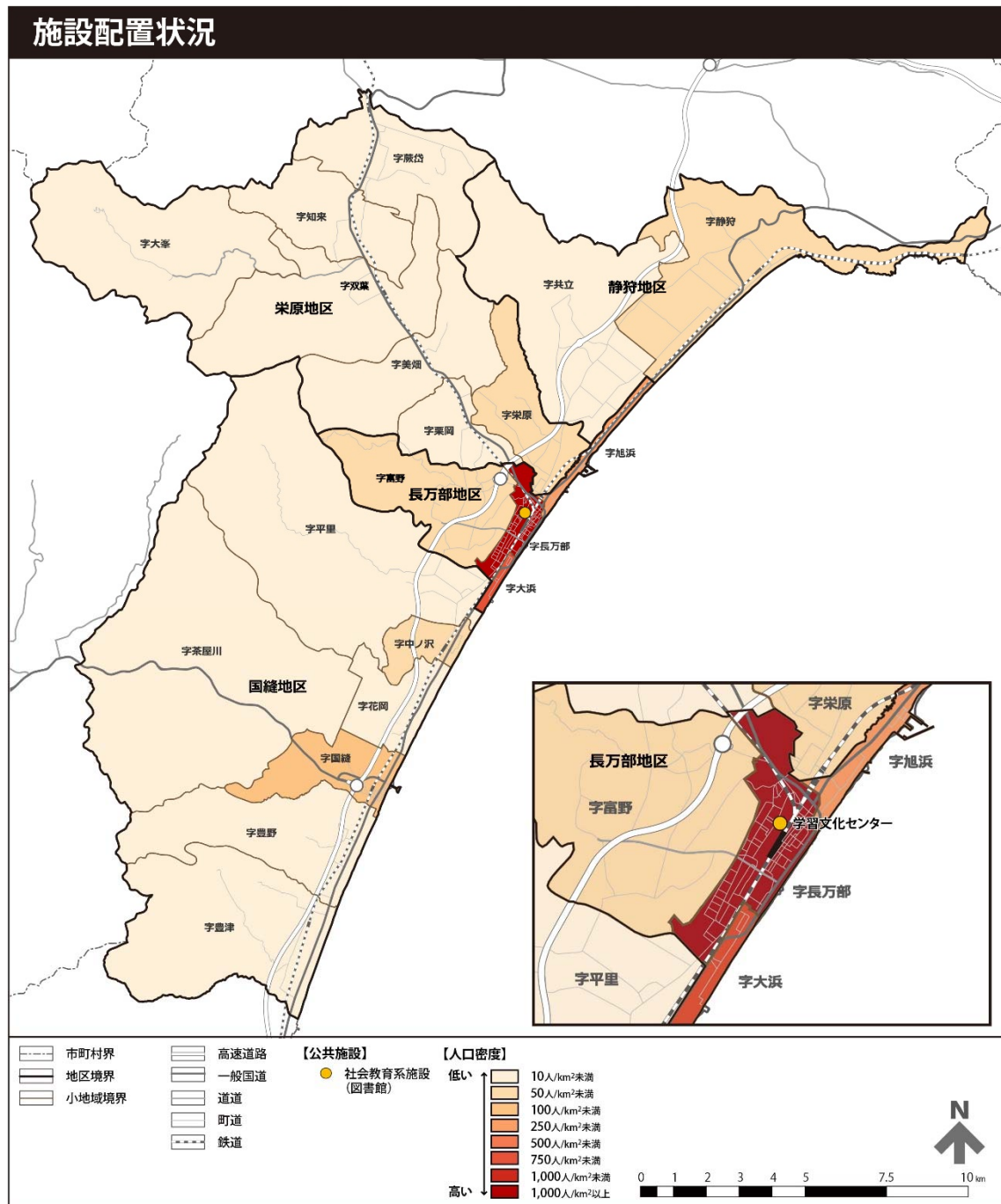


図 4-10 図書館配置状況

③ 建物の現状

図書館は、比較的新しく整備された施設であり、建築性能は高い結果となっています。

表 4-14 図書館の建物の現状

施設名称	延床面積 (m ²)	築 30 年 経過	構造性能				設備性能			建物性能 (点)
			老朽化 率	主体 構造	耐久 性能	大規模 改修	福祉 性能	節電 性能	節水 性能	
学習文化センター	1,954	-	3.1	5	5	1	3	1	1	19.1

※築 30 年経過の施設は「●」、30 年未満は「-」を記載

④ 維持管理・運営コストの現状

図書館の維持管理コスト等は、運営費 1,748 千円、維持管理費 12,860 千円となり、年間で 14,644 千円の費用がかかっています。

表 4-15 図書館の維持管理・運営コストの現状

施設名称	保有形態		運営 形態	年間収支（千円）				1㎡当たりの年間経費		
	土地	建物		収入	支出			運営費 (円/㎡)	維持 管理費 (円/㎡)	年間コスト (円/㎡)
					運営費	維持 管理費	年間コスト			
学習文化センター	所有	所有	直営	223	1,784	12,860	14,644	913	6,580	7,493

⑤ 稼働・利用の現状

図書館の稼働状況を以下に示していますが、利用者数は年間 8,000 人以上となり、図書貸出数は 1.4 万冊以上となり、稼働率は 2.0 以上と高く、町内でも利用率の高い施設となっています。

表 4-16 図書館の稼働・利用の現状

施設名称	利用者数			延床面積 (m ²)	図書貸出数	1 人あたりの延床面積 (m ²)	稼働率
	H24	H25	H26				
学習文化センター	8,585	9,420	8,219	1954.46	14,077	0.3061	2.20

2) 博物館等

① 施設の概要

町民の文化的な暮らしを促進する博物館等は、「長万部町民センター条例」など各条例に基づき、「町民センター」「植木蒼悦記念館」「平和祈念館」の3施設を整備しています。

表 4-17 博物館の施設概要

施設名称		地区	所管部門	建築年度	経過年数	延床面積(m ²)	配置形態	設置条例	開館日数	目的外利用
町民センター		長万部	教育委員会	1979	36	726.45	単独	長万部町民センター条例	295	-
植木蒼悦記念館		長万部	教育委員会	1982	33	122	単独	植木蒼悦記念館条例	295	-
平和祈念館	展示室	長万部	教育委員会	1983	32	207.84	併設	平和祈念館条例	295	-
	石像展示室	長万部	教育委員会	1983	32	9.93	併設	平和祈念館条例	295	-



《町民センター》



《平和祈念館》

② 施設の配置状況と需要人口

博物館等の配置と字別の人口密度を示していますが、全町民を対象とした図書館と同じく町内で最も人口密度の高い地域に配置しています。

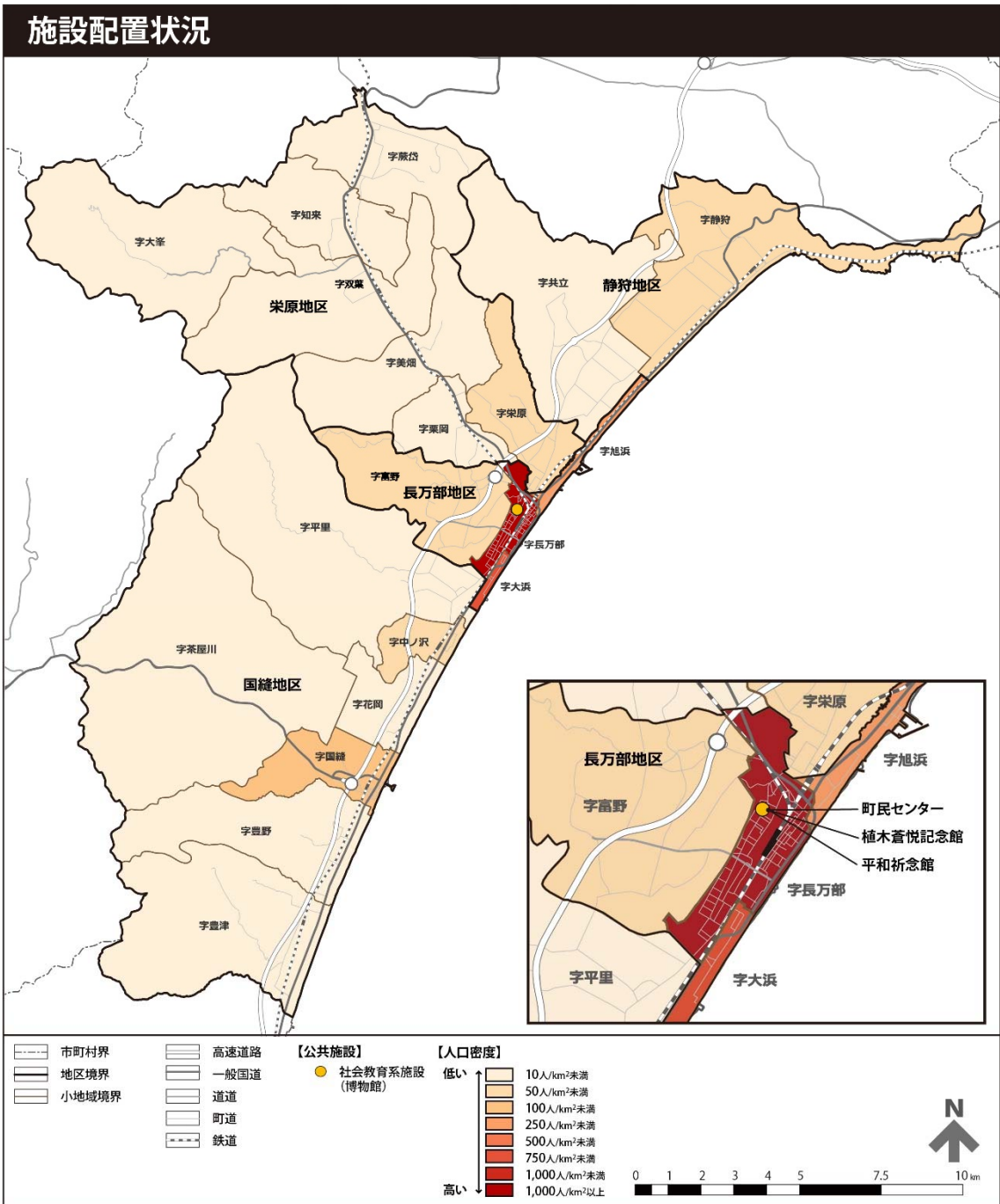


図 4- 1 1 博物館等配置状況

③ 建物の現状

博物館等は、築 30 年を経過した施設が多くなっていますが、耐震化などが進んでおり、建築性能は比較的高い結果となっています。

表 4-18 博物館の建物の現状

施設名称	延床面積 (m ²)	築 30 年経過※	構造性能				設備性能			建物性能 (点)
			老朽化率	主体構造	耐久性能	大規模改修	福祉性能	節電性能	節水性能	
町民センター	726	●	2.1	5	1	1	2	1	1	13.1
植木蒼悦記念館	122	●	1.0	1	5	1	2	1	1	12.0
平和祈念館展示室	208	●	1.6	3	5	1	1	1	1	13.6
平和祈念館石像展示室	10	●	1.0	1	5	1	1	1	1	11.0

※築 30 年経過の施設は「●」、30 年未満は「-」を記載

④ 維持管理・運営コストの現状

博物館の維持管理コスト等を以下に示しています。

表 4-19 博物館の維持管理・運営コストの現状

施設名称	保有形態		運営形態	年間収支（千円）				1㎡当たりの年間経費		
	土地	建物		収入	支出			運営費 （円/㎡）	維持 管理費 （円/㎡）	年間コスト （円/㎡）
					運営費	維持 管理費	年間コスト			
町民センター	所有	所有	直営	0	2,161	1,935	4,095	2,974	2,663	5,638
植木蒼悦記念館	所有	所有	直営	0	0	44	44	0	357	357
平和祈念館	所有	所有	直営	0	0	60	60	0	274	274

⑤ 稼働・利用の現状

博物館の稼働状況を以下に示していますが、植木蒼悦記念館や平和祈念館の利用者は減少していますが、町民センターの利用は増加傾向となっています。

表 4-20 博物館の稼働・利用の現状

施設名称	利用者数			延床面積 (m ²)	部屋数	1 人あたりの延床面積 (m ²)	稼働率
	H24	H25	H26				
町民センター	1,425	1,205	1,487	726.45	-	0.1138	0.92
植木蒼悦記念館	868	587	560	122	-	0.0191	0.77
平和祈念館	913	634	784	217.77	-	0.0341	0.85

(2) スポーツ・レクリエーション施設

1) スポーツ施設

① 施設の概要

町民の健康的な暮らしを促進するスポーツ施設は、「長万部町ファミリースポーツセンター条例」や「長万部町民体育館条例」など各条例に基づき、「ファミリースポーツセンター」「長万部町 B&G 海洋センター」「青少年会館」「町民体育館」の4施設を整備しています。

表 4-21 スポーツ施設の概要

施設名称		地区	所管部門	建築年度	経過年数	延床面積(m ²)	配置形態	設置条例	開館日数	目的外利用
ファミリースポーツセンター		長万部	教育委員会	1973	42	2617	単独	長万部町ファミリースポーツセンター条例	305	葬儀
長万部町 B&G 海洋センター		長万部	教育委員会	1991	24	1030	単独	長万部町 B&G 海洋センター条例	101	-
青少年会館		長万部	教育委員会	1977	38	566.12	単独	長万部町青少年会館条例	305	-
町民体育館	町民体育館	長万部	教育委員会	1968	47	720	併設	長万部町民体育館条例	305	-
	増築	長万部	教育委員会	1982	33	124.95	併設	長万部町民体育館条例	305	-



《長万部町ファミリースポーツセンター》



《長万部町青少年会館》

② 施設の配置状況と需要人口

スポーツ施設の配置と字別の人口密度を示していますが、施設は人口密度の高い中心部に配置されています。

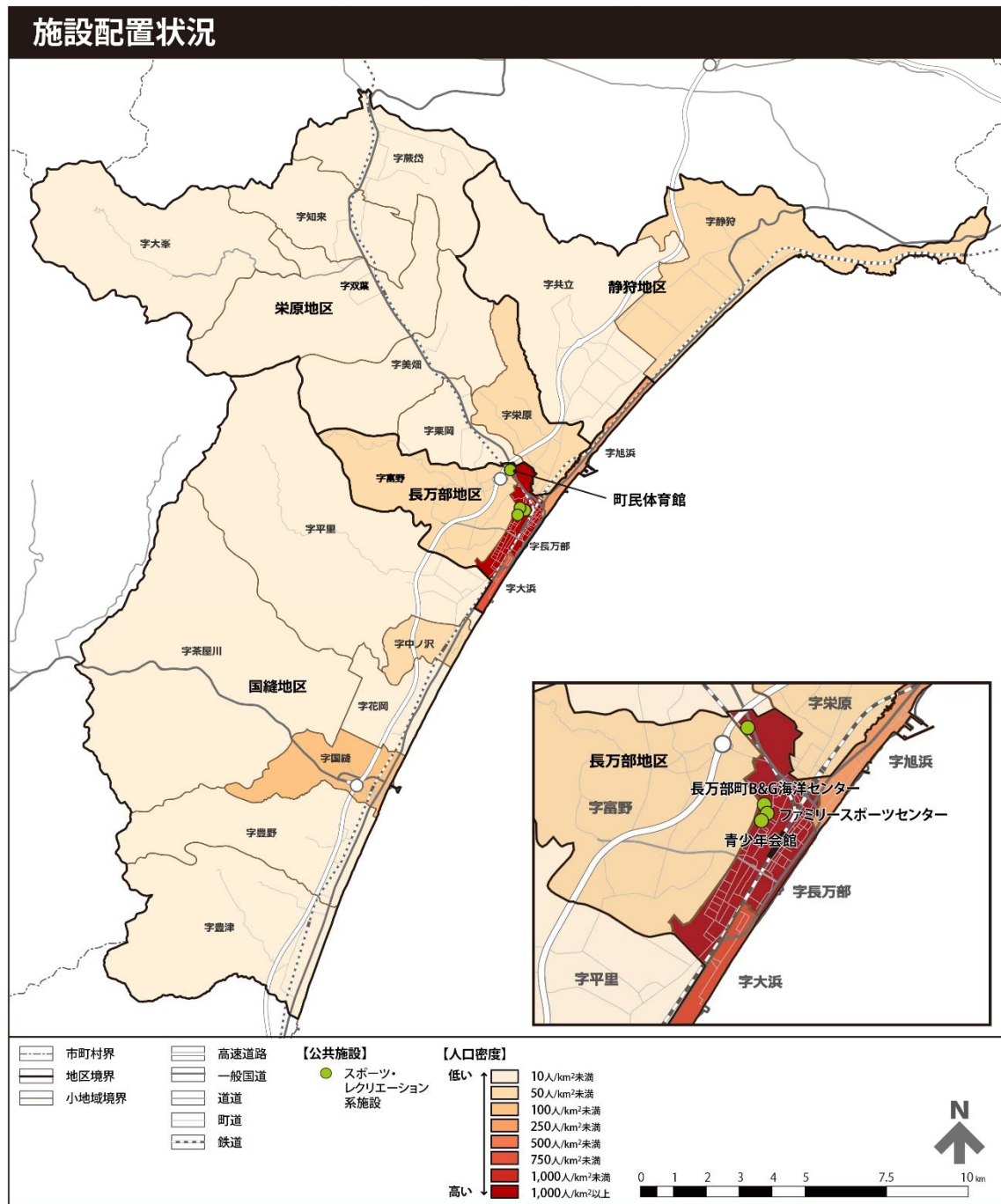


図 4-12 スポーツ施設配置状況

③ 建物の現状

スポーツ施設は、築 30 年を経過した施設が多くなっていますが、町民体育館以外では耐久性能が高いなど、建築性能が比較的高い結果となっています。

表 4-22 スポーツ施設の建物の現状

施設名称	延床面積 (m ²)	築 30 年 経過※	構造性能				設備性能			建物性能 (点)
			老朽化 率	主体 構造	耐久 性能	大規模 改修	福祉 性能	節電 性能	節水 性能	
ファミリースポーツ センター	2,617	●	1.0	3	3	1	2	1	1	12.0
長万部町 B&G 海洋 センター	1,030	-	1.8	3	5	1	1	1	1	13.8
青少年会館	566	●	1.0	3	3	1	1	1	1	11.0
町民体育館	720	●	1.0	3	1	1	1	1	1	9.0
町民体育館 (増築)	125	●	1.0	1	5	1	1	1	1	11.0

※築 30 年経過の施設は「●」、30 年未満は「-」を記載

④ 維持管理・運営コストの現状

スポーツ施設の維持管理コスト等を以下に示しています。

表 4-23 スポーツ施設の維持管理・運営コストの現状

施設名称	保有形態		運営 形態	年間収支（千円）				1㎡当たりの年間経費		
	土地	建物		収入	支出			運営費 （円/㎡）	維持 管理費 （円/㎡）	年間コスト （円/㎡）
					運営費	維持 管理費	年間コスト			
ファミリースポーツセンター	所有	所有	直営	42	4,059	10,317	14,376	1,551	3,942	5,493
長万部町 B&G 海洋センター	所有	所有	直営	109	2,070	5,127	7,197	2,010	4,978	6,988
青少年会館	所有	所有	直営	0	0	1,179	1,179	0	2,083	2,083
町民体育館	所有	所有	直営	0	0	506	506	0	598	598

⑤ 稼働・利用の現状

スポーツ施設の稼働状況を以下に示していますが、「ファミリースポーツセンター」は稼働率は 1.45 と高く、町内でも利用率の高い施設となっています。

表 4-24 スポーツ施設の稼働・利用の現状

施設名称	利用者数			延床面積 (m ²)	部屋数	1 人あたりの延床面積 (m ²)	稼働率
	H24	H25	H26				
ファミリースポーツセンター	25,275	23,002	20,718	2617	-	0.4098	1.45
長万部町 B&G 海洋センター	4,387	3,297	3,620	1030	-	0.1613	0.86
青少年会館	4,056	4,597	4,838	566.12	-	0.0887	0.93
町民体育館	1,201	1,177	1,682	844.95	-	0.1323	0.80